

## (2) スーパーマーケット

飯館村のスーパーマーケットでは、多くの人に<sup>りよう</sup>して  
もらうために、どことなくふうをしているのでしょうか。

### 店長さんの話



ここには1日おおよそ700人のお客<sup>きやく</sup>さんが買いに来ます。休日より平日の方が<sup>きゅうじつ</sup> <sup>へいじつ</sup>利用<sup>りよう</sup>する人は多いようです。店内ではたらいっている人は17人で、やさいをならべたり、レジを打<sup>う</sup>ったり、手分けして仕事<sup>しごと</sup>を進<sup>すす</sup>めています。この店では、とうふやハム・ソーセージを作<sup>つく</sup>ってはんばいしています。とうふは、日本でとれただいを100パーセント使<sup>つか</sup>って、1日に600~700丁<sup>ちやう</sup>ほどの数を作<sup>つく</sup>っています。ハム・ソーセージも飯館<sup>いんかん</sup>産<sup>さん</sup>の牛肉<sup>ぎゅうにく</sup>を使<sup>つか</sup>って、質<sup>しつ</sup>の高いせいひんを作<sup>つく</sup>っています。野さいは、飯館<sup>いんかん</sup>村<sup>むら</sup>でとれたほうれん草<sup>ほうれんそう</sup>や大根<sup>だいこん</sup>などを農家<sup>のうか</sup>の人<sup>ひと</sup>から買<sup>か</sup>い入れて、新<sup>しん</sup>せん<sup>せん</sup>な<sup>な</sup>しな<sup>しな</sup>ものをお店<sup>みせ</sup>で売<sup>う</sup>ったりします。大売<sup>だいばい</sup>り出<sup>で</sup>しは、きぼの大きいもので1年に4回、小さいものは1年に50回くらい行<sup>い</sup>っています。せんでんは、ちらしをくばったり、大売<sup>だいばい</sup>り出<sup>で</sup>しのはたや花火<sup>はなび</sup>をあげたりします。このように、いろいろ工夫<sup>くわふ</sup>しながら、たくさんのお客<sup>きやく</sup>さんに利用<sup>りよう</sup>してもらえようどりよくしています。